

提言書（案）の主な変更内容

第4回検討委員会における意見を踏まえて、「トップシティに向けての取組（3本の柱）」の表現及び構成等を調整

- 1 3本の柱を、構想のコンセプトが、より伝わるようなキーワードを用いて以下のとおり変更

前回	防災強化、情報発信、世界貢献
今回	大規模噴火でも「犠牲者ゼロ」を目指す防災対策 次世代に「つなぐ」火山防災教育 「鹿児島モデル」による世界貢献

<柱の1つを「火山防災教育」に変更した理由>

- ・ 桜島と長くつきあっていくため、また、共生していくためには、桜島への理解や火山としての認識を深める防災教育が重要であり、さらに、今回のトップシティ構想検討の中で、子どもたちのみならず、市民や事業者を含め、広く取り組んでいく必要性が確認されたことから、柱の1つとして特に位置づけることが、これまでの検討を表した提言になるものと考えられるため。
- ・ また、「情報発信」は手段であり、各柱の推進にあたって、全てに必要なものであるため。

- 2 上記の整理・集約に伴い、委員の主な意見を再整理したほか、各柱において取り組むべき内容を3項目に集約